

第4期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 評価方法検討のためのワークショップ

趣 旨

第4期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画(以下、本計画という。)が策定され令和6年度から各事業を行っています。本計画は、5カ年計画と定めており、毎年度評価を行い地域福祉の推進に資する事業また取組などについて適切に行われているか進捗を図っていく必要があります。

本計画の評価は、市と社会福祉協議会で構成された事務局による自己評価だけでなく、附属機関である委員の皆様にも調査審議していただくことが条例で定められています。

次年度から実施する本計画の評価は、委員の皆様からのご意見と事務局の意見を反映した評価方法を構築したいと考えております。

そこで、今回の推進委員会は、「ワークショップ形式」で開催し、委員のお立場で感じられる評価の課題を整理し、評価の項目や審議しやすい方法など広く協議・検討していただき、ご意見を基に本計画の評価方法を考えることを目的としています。

令和7年2月17日(月)

1. 第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画の評価

(1) 委員の役割

(所掌事務)

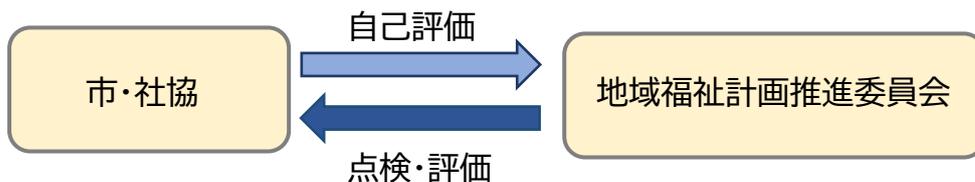
第2条 委員会は、次に掲げる事項について調査審議する

- (1) 佐世保市地域福祉計画の策定に関すること
- (2) 佐世保市地域福祉計画の進捗状況に関すること
- (3) 佐世保市地域福祉活動計画の進捗状況に関すること
- (4) 社会福祉法人が作成する地域公益事業を行う社会福祉充実計画に対する意見に関すること
- (5) その他本市の地域福祉の推進に必要な事項に関すること

(佐世保市地域福祉推進委員会条例)抜粋

(2) 進捗管理・評価体制

[評価管理・評価体制イメージ図]



[評価の頻度]

次年度以降の施策や取組に反映させていく必要があるため毎年度実施

[評価項目]

数値による評価の項目

- ・策定時に設定した事業内容(主な取組み)ごとの数値目標や指標を基に数値目標に対し達成度(目標値、実績値、達成度(%))を数値化した項目
- ・基本目標ごとに数値化された平均を「A」「B」「C」という表現で評価する項目

数値結果の分析と今後の取組方針を明記する項目

- ・事業内容に対する「具体的な取組みと実績及び実施結果(実績)の分析と課題の整理」、及びそれを踏まえた「今後の取組み方針」を明記した項目

(3) 事務局が考える課題と対応案

○課題

数値結果だけで評価していることが適切なのか

○対応案

数値による評価に加え、アンケートやインタビューなどを実施する事業では、アンケート結果など参加者の意見を反映した質的な評価や結果に至るまでの過程を評価したプロセス評価などの項目を用いてはどうか

ワークショップの目的

(1) 目的

委員の立場で感じる評価の課題を整理し、本計画の評価に追加したほうが良い項目や審議を行いやすい方法など評価全般に対し広く協議・検討していただく。今回いただいたご意見を次年度から取組む評価に反映させる

(2) テーマ

「評価の難易度・取組む量・取組む期間やその他」の視点で評価全般に対し意見出し。出た意見に対し方策を協議・検討する

2. ワークショップのプログラム

(1) タイムスケジュール

次 第	実 施 項 目
アイスブレイク (5分程度)	スパイダーウェブ自己紹介 ●名前を紹介したあとに①～③のいずれかの質問を選び発言 ①1億円の宝くじが当たったらどう使いますか ②もしパワーを持てるなら、どのようなパワーがいいですか ③佐世保で一番好きな場所はどこですか 自分の発言が終わったら、次に毛糸を隣以外の委員へ渡す
① 意見出し (全 25分程度) 個人ワーク(5分) ↓ 共有(一人2分程度) ↓ さらに意見出し (4分程度)	・進行役:事務局(社会福祉協議会) ・テーマ 「評価の難易度・取組む量・取組む期間やその他」など 評価全般に対し意見出し <u>※一人3つ以上を目標に意見を出してください</u> ※ブレインストーミング法のルールに則り意見出し ○ルールは4つ ① 意見やアイデアは質より量を重視 ② 自由に考える ③ 他の人のアイデアにのっかる ④ 他の人の意見を否定・批判しない

 黄色の付箋で作業

<p>②グルーピング (5分程度)</p> <p> ピンク色の付箋で作業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出た意見をカテゴリーごとにまとめる作業 ・まとめたら、ピンクの付箋でキーワードを書き貼り付ける <p>○ルールは2つ 「近い」「似ている」と感じる意見をまとめていくことを意識 キーワードは自由に設定する</p>
<p>③アイデア出し (20分程度)</p> <p>個人ワーク(5分) ↓ 共有(一人1分程度) ↓ さらにアイデア出し (5分程度)</p> <p> 青色の付箋で作業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グルーピングした課題に対し方策案を協議・検討 ・青色の付箋に方策案を書き貼り付ける <p>(案)「どのようなデータがあれば意見をしやすいか・どのくらいの量であれば取組やすいか・取組む期間がどのくらい必要か」などより良い評価の方法についてアイデアを出し合う</p> <p>※ブレインストーミング法のルールに則りアイデア出し</p> <p>○ルールは4つ</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 意見やアイデアは質より量を重視 ② 自由に考える ③ 他の人のアイデアにのっかる ④ 他の人の意見を否定・批判しない
<p>まとめ(5分程度)</p>	<p>推進委員会からの意見</p>

(2) ワークショップの流れ

